

第8回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和5年10月2日(月) 13時15分～15時45分
- 2 場 所 入間市役所 B棟 5階 第3委員会室
- 3 出席者 委員長 濱川敦
委 員 岩田正博、浅見泰志、河村香代子、高梨雅樹、小林由利、押木正己
所管課 スポーツ推進課長 徳山雅美、副主幹 園田民子、主事 鹿島隆史
事務局 デジタル行政推進課長 山本優、副主幹 福島徹志、主査 佐々木雄基
- 4 欠席者 なし
- 5 対象施設 入間市体育施設
- 6 議 事

議 題

- (1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて
 - ① アイル・オーエンスグループ
 - ② XXXXXXXXXX
- (2) 委員からの講評
- (3) 所管課(スポーツ推進課)からの意見・感想

(1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて

プレゼンに先立ち事務局から、次の説明を行った。

応募者の資格要件のうち暴力団関係者の有無について、事務局において県警に照会したところ、応募のあった団体について、「該当は無い」との回答を得ている。

プレゼンについて、1団体あたり50分とする。時間配分は、プレゼン25分、質疑応答25分とする。仮にプレゼンが20分で終了した場合には、質疑応答を5分増やし、30分とする。質疑応答が早く終了した場合、50分に達していなくてもその時点で終了とする。

採点等については、5～1点の5段階で採点を行い、審査票は、10月6日までにデジタル行政推進課へ提出願いたい。

① アイル・オーエンスグループ

応募書類を基に入間市体育施設に関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった

委 員：当市は、市民全体で週1回のスポーツ実施率50%以上を目標として設定しているが、達成するのに苦勞をしている状況である。無関心層へのアプローチも含めて、目標達成に向けてどのような取り組みを具体的に考えているか。

応募者：37事業を組んでいるが、基本的には現在の指定管理者が実施している事業を引き継ぐという想定で考えている。ニーズの部分で、現在あるものがなくなってしまうと混乱を招くリスクがあるのでまずそれを提案させていただいている。4つの視点があると説明したが、様々な視点からまずスポーツについて興味を持って参

加していただくとともに、ニーズを踏まえ小さな一つ一つの声をしっかり拾い上げていくような事業を実施していく。興味を持って適したスポーツに触れられるように事業を展開することで、少しずつスポーツをする市民を増やし、それが習慣化すれば、50%の目標が達成できるのではと考えている。今回の提案では、引き継ぐ前提で書かせていただいたが、5年間同じことを行うのではなくて、常にリフレッシュしながら、市民が求めている事業に展開をし直していくということを考えている。

委員：非常に充実した自主事業を提案いただいていると思った。利用者団体やスポーツ団体との連携が考えられているが、それ以外に産業界、あるいは学校、大学等との連携について考えを教えてください。また、内容的に、例えばヨガ等が民業圧迫の心配はないか等、考え方があればお聞きしたい。

応募者：連携等についてはスポーツという部分だけに限らず、例えば「鴻巣市にぎわい交流にこのす」では、産官学連携を非常に推進しており、学生が考えたメニューを私たちがオペレーション等を考え実際に提供している。今後、どのような方々と関係性を作っていけるかというところではできることは変わるが、他市で実績があることからどういうアプローチをしていけば良いか考え方は持っているとお負しており、取り組んでいきたいと思っている。民業圧迫については、半官半民を意識した事業構成を考えており、住み分けをしたい。指定管理者として利益よりも地域に根差す組織の者として、「みんなの社会」という考え方の観点から提案をしていきたいと考えている。

委員：3点伺う。1点目は、プレゼンの中で「プラスワン」の説明があったが、現地見学をした中で、課題や改善点等の考えがあれば教えてください。2点目として、入間市は従来のスポーツに加えて新たなスポーツ等についても盛り込んだ入間市スポーツ振興まちづくり条例を制定したところだが、この視点から提案があればお聞かせいただきたい。3点目として、健康福祉センターにトレーニング室があるが、ここの関わりや特色を出す等の考えがあれば教えてください。

応募者：1点目については、例えばトイレの個室からインデックスのようなものが出て、使用中か使用中ではないかすぐわかるようにすることは評判が良い。体育施設は大会等があるが、これによりトラブルや利用者の不安を減らせると思う。2点目については、eスポーツ等は、実際他市の指定管理施設で高齢者福祉課と協力しながら取り組んでいる。また、ふじみ野市の施設では屋外で水鉄砲を使って行うウォーターサバイバルゲームの事業を新しいスポーツの位置付けで実施している。その他、さいたま市の子ども家庭総合センターで実施した、子どもたちが今までにない観点から新しいスポーツを作るという事業も非常に好評だった。これは、ルールも含めて「考える」側面も重視しているものだが、こういうものが新しい地元の根付くスポーツとして盛り上がったら面白いと考えている。3点目につい

ては、所管課と調整をしていく必要があるが、例えばリハビリテーションに特化したトレーニングの使い方をするために、所属するトレーナーを外部講師として派遣するなど、健康福祉センターのトレーニング室との住み分けをしっかりとしたい。最新の機能の器械を入れようと思っているが、「使用方法を気軽に聞きたい」、「自分の健康のために週1回簡単にトレーニングをしたい」というような希望があれば、例えば健康福祉センターと連携をしながら、「こちらであればシンプルにもっとできる」、歩行についての悩みがあったら「こちらの施設のこの器械がいい」など、フォーカスした提案を私たちがすれば良いのではと考えている。

委員：1点目については、個人的には実現すると良いと思う。2点目については、色々なスポーツの切り口があるとそれだけ週にスポーツにふれる市民の割合が増えていくと思うので、そういう視点もありがたいと思った。3点目については、指定管理者になった場合はしっかり調整をしてほしい。

委員：収支計画書積算内訳書の事業費「トレーニング機器リース」を見ると、毎年度約232万円が計上されており月額20万円位の計算となる。事業計画の中でトレーニングルームの機器をリニューアルとあり、もっと費用がかかるイメージだったがこの額で可能ということか。

応募者：当社単独もしくは当グループで、埼玉県内のスポーツ施設において同メーカーでリニューアル実績がある。そちらのメーカーに積算やマシンの選定、配置をお願いしている。収支内訳書に記載された金額で今回提案しているトレーニングルームのリニューアルというのは間違いなくできるという理解で結構である。

委員：2点質問をする。1点目は、自主事業については全て有料ですということか。また、現在実施されている事業を引き継ぐと思うが、料金は同額かあるいは高くなるのか。2点目は、トレーニング室について、シフト表によると常時2名のトレーナーを配置するということだがそれで間違いのないか。また、現在は利用料としては安いと思うが、そこに上乗せで徴収する予定なのかあるいは同額のままでいくつもりなのか。

応募者：まず1点目の自主事業についてだが、調べた限りではこれまでプールでのイベントがあまりなかったように見受けられた。せっかく大きなプールがあるため楽しんでもらえるよう新しい事業を提案したが、これらは全て無料で行う予定である。また、他の自治体で実施している自主事業も無料で行っている。プールはお金を持ち込む場所として適さない上、子どもによっては紛失してしまう可能性もある。夏の思い出を作ってもらうためにも無料で提供したい。その他の事業については、現在実施されている事業の金額が適正かどうかを判断して決める。新しく提案する事業については、他の自治体で実際に実施している料金設定で提案したい。2点目のトレーニング室については、2名の配置は適正であると考えている。トレーニング機器使用時のリスクや機器の説明への対応等を考えると、1名体制はリスク

がかなり高い。料金については、利用率や実際のお客様の声を聞きつつ、所管課と調整をしながら必要があれば条例改正等をしていこうと考えている。

委員長：3点伺う。1点目として、実際現地をご覧になり、今の入間市の体育施設の整備水準についてはどのように評価しているのか。2点目として、他の自治体での体育関係施設の指定管理で実施した新規事業で、市民から高評価だった企画について紹介していただきたい。3点目として、体育施設は地元密着型の施設で既存のスポーツ団体等各種団体と調整することが多々あるため地元にある程度精通されている方がありがたいが、実際に常駐するスタッフの人選の考え方について教えていただきたい。

応募者：まず1点目の整備水準については、自分たちでなかなか管理しきれてない部分が多いのではないのかという印象を持った。当グループは人数の多さ・厚さが売りだが、市内業者を使わないということではないが、何から何までも任せてしまうとどうしても急に改善を要望したいときにスピード感が持てないのではないかと感じている。また、ホームページについては、利用者にとっては非常に見づらと思うのでいち早くリニューアルをしたい。今は情報社会であり、ホームページから情報を取得したいという方は多くいらっしゃると思う。ハード面の建物の管理だけではなく、ソフト面の管理というところもまだできるところがあると思う。2点目の市民受けの良い新規事業については、今回提案した中だと、アシックススポーツファシリティーズと共同で行う「キッズスポーツラボ」や、「女子サッカー教室」等プロのスポーツ選手とふれあえる事業は人気が高い。3点目の地元精通している人の配置については、重要であると思う。狭山市ふれあい健康センター「サピオ稲荷山」の指定管理者であるので、例えばそこを介して紹介してもらうことや、所管課と相談をしながら、施設の管理運営に適していると思われている方がいる場合には紹介してもらい、実際に雇用をしていくということも他の自治体では行っている。指定管理者制度は、地元精通し、地元を盛り上げようとし、愛しているという人材が施設の管理者を務めること、シビックプライドを持ち、これを職員に波及させみんなでここ盛り上げ、さらには市民を巻き込むという考え方を持つことが重要だと思っている。そういった人材をしっかり採用したいと考えている。

②

応募書類を基に入間市体育施設に関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：2点伺う。1点目として、入間市スポーツ推進計画で「成人の週1回のスポーツ実施率50%以上」と目標を設定しているが、なかなか達成できない状況でいる。これを達成させるためには、今までとは違った取り組みが必要だと思うが、具体的にどういう事業が達成に向けた取り組みになるか教えていただきたい。2点目として、入間市スポーツ振興まちづくり条例を制定した。この条例では、アーバ

ンスポーツ等新しいスポーツが含まれているが、この条例によって、今までと何が変わってくるのか、どのように反映されているのか等お聞かせいただきたい。

応募者：まず1点目の目標については、現在スポーツをしている方は、基本的には継続して週1回していると思う。そうでない方、これから運動を始めたい方にスポーツに目を向けていただくことが大事であると考えている。このような方に、通常の「教室」の事業はハードルが高いのかと思う。今回イベント事業をいくつか提案しているが、遊びから入るスポーツというイメージで計画している。令和4年度に実施した「XXXXXXXXXX」では、年配の方から未就学児の方まで幅広く来ていただき、「またやって欲しい」「スポーツに取り組むきっかけになる」等の意見をいただいた。色々な事業をきっかけとしてスポーツに取り組んでいただけるよう今回提案をしている。2点目の入間市スポーツ振興まちづくり条例について、今回計画している事業は、自主事業も含めて、様々なスポーツ活動を通じて、市民が親しみ実践すること等を目的としているので、条例の目的に寄与できるものと考えている。また、条例では、経済の発展等も含まれているので、今回色々イベント事業を提案しているが、その中で、お茶など産業部分も取り入れ、スポーツと産業を盛り上げていくような、事業展開をしたいと考えている。

委員：1点目の質問に関して、目標を達成するためにこの事業を新たに提案したという事業があれば教えていただきたい。

応募者：XXXXXXXXXXは市民体育館開館45周年事業として新たに実施するものだが、色々な種目で遊びを入れながら体験してもらおう企画になっている。また、武道祭とも連携をして、例えば、著名なゲストを呼ぶなど、スポーツに興味がない方も含め多くの人に来館いただくような事業を始める。

委員：2点伺う。1点目として、提案の中で民間企業協賛金の獲得を次の5年間積極的に実施するとあったが、自主事業の中で産学官連携して取り組む考えで提案をしている部分があれば教えていただきたい。2点目として、提案の中で、相談窓口や営業担当を設けサービス向上につなげるという話があったが、実際にそういった取り組みを十分できるような体制を考えているのかお聞きしたい。

応募者：1点目の企業協賛の関係について、令和5年度から力を入れ始め、令和6年度以降令和10年度まで継続的に続けていくというコンセプトのもと、現状、に話をしている。協賛金をいただくだけではなく、XXXXXXXXXXの職員の方に来ていただき、例えばスポーツ事業であれば、少年少女サッカー教室、ソフトボール教室に携わっていただくような連携を考えている。体育施設ではないが、先日産業文化センターの「XXXXXXXXXX」について、XXXXXXXXXXと協賛金の他、当日プログラム等の配布等で連携した。2点目のうち営業担当について、体育施設だけの職員では賅えない部分については、事務局職員で担当し、企業協賛やポスターの掲示先の開拓等連携をする。部署で縦割りするのではなく横断的に業務

を連携しながら、相乗効果を上げていく。相談窓口については既に実施しており、年間10件程度だが相談をいただきサークル情報等数十団体の情報から紹介等をしている。既存の職員で十分に対応可能と考える。

委員：自主事業や公的資金の活用についてプレゼンがあったが、収支計画ではこれらの収入については見込まれていない。今後も収入として見込めるものはあると思うがいかがか。また、安定経営のために、収入の確保や様々な営業をしていく営業担当を配置するのと思うが、この辺りを含めて5年間の経営見通しを説明していただきたい。

応募者：体育施設の管理運営の収支計画の中には自主事業費は計上していない。別会計で自主事業会計があり、指定管理業務とは別の事業の展開をしていくということから別計上としている。収入支出予算立てについては、例えば前年度の自主事業の収入額を、翌年度の事業にまわしている。当然当年度の事業の収入が多くなると翌年度に回すこともできないが、少しでも参加者数やチケットの収入を増やし、翌年度の公益目的事業、指定管理事業の方に費やしていくという考え方である。営業担当については、企業の協賛金等開拓を行い、直接的に収入を得るほか、ポスター掲示先、チラシの配布先の開拓で間接的に収入を稼ぐよう取り組んでいる。また、施設と事務局等で連携し、国・県の制度の助成金等についても情報共有し、積極的に助成金の獲得をしていく。

委員：令和4年度の決算の自主事業収入額及び令和5年度の予算額を教えてください。

応募者：令和4年度決算額は4,017,430円であり、これは■■■■が管理運営している全施設の自主事業としての収入である。また、令和4年度の事業助成金収入は5,313,000円である。令和5年度自主事業収入の予算額は6,238,000円である。

委員：2点伺う。1点目として「管理運営に関する収支計画書 積算内訳」の人件費について、黒須市民運動場と中央公園が0円になっているが、専従職員はなく他施設との兼務になるということか。また、2点目として事務局経費が毎年度1,500万円程計上されているが、具体的に内容を教えてください。

応募者：1点目の黒須市民運動場と中央公園の人件費が計上されていないのは、武道館と市民体育館の職員が兼務で対応しているためである。また、グラウンドそのものの管理については委託料で執行している。2点目の事務局経費については、間接経費として、具体的には、事務局が一括管理している会計システム、給与計算、福利厚生、研修の関係等、施設単独では対応できないものに係る経費である。

委員：お願いしたい事項が1点と質問が2点ある。夜間業務があるときは残業とならないよう時差出勤をするという提案があったが、始業と終業の時刻が変更となることについて就業規則に入れていただくとともに、該当職員には労働条件が変更となることについて十分説明しご了解いただくようお願いしたい。質問1点目とし

て、トレーニング室を充実させるということだが、現状専従の人員は配置されていない。これまで、怪我や事故はあったか。2点目として、少数精鋭という言葉があったが、逆に言うと1人の残業時間の負担がないか心配である。大体で良いので残業時間を教えていただきたい。

応募者：1点目のトレーニング室での事故等について、高校生以上で安全利用の講習会を受けた者のみ利用が可能であるが、ここ数年事故等は1件もない。2点目の時間外勤務の時間については、令和4年度の1年間で、最も多い職員で330時間であり、1ヶ月当たり30時間は超えていない。

委員：ずっと同じ職員が残業をしているということはないか。

応募者：なるべく他の職員にも割り振りをするなどコントロールはしているが、確実にできるということではないので、気をつけていきたいと考えている。また、時差出勤の関係については今後考えていきたい。

委員：質問ではないが、残業時間が多くて休日にスポーツをする気にならないという事態になっている。企業努力が必要な部分なのかと感じている。また、子育て世代では共働きで休日どちらも外出するとなるとどちらが育児するのかということになる。託児所等の施設があったらいいのかなと感じている。また、各種教室についてもニーズを把握して、実施時点で最適な事業内容となるよう再考していただきたい。

応募者：事業のニーズの把握や託児の関係等考えていきたい。

委員長：プレゼン資料11～19ページの利用者サービスの向上や自主事業についてだが、既に実施していることが主に記載されていると思うが、次の指定管理期間に新たに実施したいあるいは既に実施しているが拡充したいと考えているものを教えていただきたい。

応募者：利用者サービスについて、「XXXXXXXXXX」は令和6年度新たに実施するものである。また、「XXXXXXXXXX」は、現在既に実施しているが、回数や時期等について、現在3ヶ月単位だが6ヶ月単位にするなど長くしていきたいと考えている。自主事業については、「XXXXXXXXXX」はこれまでに実績がなく新たに取り入れるものである。イベントでは、「XXXXXXXXXX」と「XXXXXXXXXX」も新規である。また、「XXXXXXXXXX」「XXXXXXXXXX」「XXXXXXXXXX」「XXXXXXXXXX」も新規事業である。

(2) 委員からの講評

委員長：応募資料および本日のプレゼンテーションを受け、各委員から意見、感想があればお願いしたい。なお、あくまでも採点は各委員の自己判断が大前提となるが、専門的な見地から述べておきたいことや、相互確認しておいたほうが良いことなどがあれば述べていただきたい。

委員長：██████にアイル・オーエンスのプレゼンを聞いてもらい、その上でどう考えるのかという答えを聞いてみたいと思った。それが叶わない中で、どちらかを選ぶ必要があるためよく考え悩まなければいけないという気がした。██████は地元と相当なネットワークを持って安定的に指定管理をしてきた。外部の人間が入ることによるハレーションが初期はあると思いい心配な部分はあるが、またよく考えたい。

(3) スポーツ推進課からの意見・感想

委員長：所管課としての意見、感想があればお願いしたい。

所管課：体育施設は平成18年度から指定管理者による運営を行ってきた。所管課で5期目の指定管理に期待することは、安心安全な施設提供や、法律の遵守はもちろんのこと、民間ならではの視点と発想力で、体育施設やスポーツの魅力を多くの市民に広めていただきたいと考えている。例えばスポーツに今まで縁がなかった市民に活動に結びつける仕掛けや、スポーツをするだけでなく、見る、支えるといったスポーツとの多様な関わり方の提案、施設利用や事業参加を促進するための効果的な広報などが期待される場所である。アイル・オーエンスについては、県内で多くの管理運営実績を有しており、安定感や信頼感があると評価をしている。最近では、建物のみならず、グラウンドも質の高い維持管理を求められており、それに対する技術力の高い管理能力を備えていることについて大変魅力を感じた。また、企画事業については、アシックスなどの民間プログラムを取り入れた教室の開催、プールにおける多彩な事業の導入、利用者サービスの向上に向けたプラスワンという考え方等、これまでにない事業の提案に期待が持てる。については、長年の実績を踏まえて、さらにレベルアップをしようと、新規の取り組みを多数企画していることに意欲が窺えた。例えば、キッズかけっこ、トップアスリートによる子ども向けの教室を通じた子どものスポーツの機会の充実や、教室事業のYouTubeの配信、電子メールによる情報発信など、オンラインを通じた情報発信の強化などが挙げられる。5期目の指定管理については、スポーツ活動を通じたすべての市民が健康で元気あるまちを実現するため、「入間市スポーツ振興まちづくり条例」の理念に基づいた展開に取り組んでいただきたい。これらを考慮し、適正な審査をお願いしたい。

7 その他

審査票の提出と次回の日程について

10月6日（金）までに審査票をデジタル行政推進課に提出していただきたい。次回の第9回の選定委員会を10月4日（水）に開催する。

以上